

I 令和元年度（2019年度）実績報告について

I 令和元年度の主要事項

1 収支の改善

公益社団法人広島市視覚障害者福祉協会（以下、視障協という）の令和元年度の収支が、前年度（平成30年度）の▲2,082,154円の赤字から、収入の増加に加え、人件費等の支出の抑制により、326,242円の黒字となった。

2 新たな視覚障害者支援の検討着手

視障協用地を活用した施設整備と視覚障害者支援を骨格とした、新たな視覚障害者支援の実現に向けた取り組みの検討を開始することとした。また、整備に充当する「福祉施設建設積立資金」への新たな積立計画を策定し、令和2年度から積み立てることとした。

3 公益社団法人広島市視覚障害者福祉協会結成70周年記念大会の開催

令和2年1月26日（日）、視障協の結成70周年を祝い、記念コンサート、記念式典・祝賀会を開催し、多くの来賓、会員に出席いただき、盛会のうちに終えることができた。

II 公益目的事業

1 歩行訓練事業

中途失明者等の視覚障害者が自力で歩行できるよう、歩行訓練士による歩行の訓練を行うとともに、白杖の選定をはじめ、外出に関する様々な相談に対応した。

(1) 歩行訓練等

① 歩行訓練

ア 訓練内容

- ・白杖の基本操作
- ・屋外歩行に必要な技術指導
白杖による伝え歩き、道路・交差点の横断方法、公共交通機関の利用、援助依頼の方法等
- ・手引き歩行の受け方など

イ 訓練実績

区分	29年度実績	30年度実績	元年度実績
訓練者数	32人	27人	22人
訓練回数	301回	322回	291回
1人当たりの訓練回数	9.4回	11.9回	13.2回

ウ 元年度訓練者の概要

(ア) 男女別

男性 9人、女性 13人、計 22人

(イ) 区別

区分	中	東	南	西	安佐南	安佐北	安芸	佐伯	計
人数	2	3	2	1	4	5	1	4	22

(ウ) 年齢別

区分	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
人数	2	1	4	6	5	4	22

(エ) 訓練目的

- ・ほとんどが、自宅周辺の自力歩行
- ・その他に、最寄り駅・公共施設までのバス利用、自力歩行
- ・訓練者のうち、自力通勤の訓練が4人。職業訓練校までの自力通学の訓練が1人。

(オ) 訓練に至る経路

区分	医療機関・介護施設	福祉課窓口	白杖選定等の来所	計
人数	7	11	4	22

② 白杖選定等訓練外に対応

白杖の選定や破損に関する相談に応じ、本人に適した白杖の選定、摩耗、破損した白杖の速やかな交換等に対応した。また、白杖の使用方法等に関する相談に対応する中で、必要に応じて、歩行訓練につないだ。

区分	29年度実績	30年度実績	元年度実績
訓練外対応回数	74回	70回	61回

(2) 視覚障害者の理解や援助技術普及のための講師活動等

① 視覚障害理解のための研修講師

ア 広島市新規採用職員研修

- ・視覚障害についての理解
- ・9月12日・19日・26日

イ 女学院中学授業

- ・視覚障害の理解、手引きの方法
- ・11月8日

② 同行援護養成講座講師

ア 視障協

- ・6月8日・15日・16日・29日・30日

イ 介護労働安定センター

- ・11月18日・19日・24日・25日

③ 視覚障害者の単独歩行の環境改善調査

- ・視障協が行う「まち点検」に同行
- 6月9日 広島駅周辺

④ 各区の当事者団体の会合への参加

- ・4月21日、6月23日、8月4日、9月15日、12月1日・15日・22日、1月12日

⑤ その他

- ・暗所視支援眼鏡体験会指導
- 8月24日、25日 平和記念資料館

2 社会参加促進事業

視覚障害者の社会参加を促進するため、以下の事業を実施した。

(1) 盲女性家庭生活訓練

① 編物教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・年間開催回数 24回→22回
- ・毎月第1月曜日・第3月曜日 13:30～15:30
- ・開催場所 広島市総合福祉センター

② 生花教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・年間開催回数 24回→22回
- ・毎月第1火曜日・第3火曜日 11:00～13:00
- ・開催場所 広島市総合福祉センター

③ 料理教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・年間開催回数 24回→22回
- ・毎月第1日曜日・第2月曜日 10:00～12:00
- ・開催場所 広島市総合福祉センター

④ 研修会

- ・ 7月21日 「洋食のテーブルマナー」 参加 22人
ホテルグランヴィア広島
- ・ 11月26日 「椅子に座ってできるヨガ」 参加 14人
心身障害者福祉センター
- ・ 2月9日 「iPhoneで何ができるの？」 参加 10人
心身障害者福祉センター

(2) 盲青年等社会生活教室

① 社会見学

- ・ 11月10日 神楽門前湯治村（安芸高田市） 参加 14人

② 講演会

- ・ 9月15日 「見えない私だからこそみえてきた壁」 参加 24人
心身障害者福祉センター
- ・ 2月11日 「声を届けて20年」 参加 10人
心身障害者福祉センター

③ コーラス教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・ 年間開催回数 12回→11回
- ・ 毎月第3日曜日 13:00～15:00
- ・ 開催場所 心身障害者福祉センター

④ カラオケ教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・ 年間開催回数 12回→11回
- ・ 毎月第1日曜日 10:00～12:00
- ・ 開催場所 心身障害者福祉センター

⑤ パソコン教室

- ・ 10月27日 参加 4人 心身障害者福祉センター
- ・ 11月5日 参加 4人 広島市総合福祉センター
- ・ 11月17日 参加 4人 心身障害者福祉センター

⑥ 研修会

- ・ 年間開催回数 2回→1回
- ・ 6月9日 「歴史の散歩道の神社仏閣」心身障害者福祉センター

⑦ 福祉研修会

- ・ 9月7日・8日 中国ブロック盲人福祉大会に参加 松江市
参加 21人

(3) 中途失明者緊急生活訓練

① 感覚訓練

- ・ 12月1日 ボルダリング体験 参加 5人
クライムセンターCERO（府中町）
- ・ 2月9日 いちご狩り 参加 45人
井上農園（今治市）

② 点字教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・年間開催回数 24回→22回
- ・毎月第2金曜日・第4金曜日 13:30～15:30
- ・開催場所 広島市視覚障害者情報センター

(4) 身体障害者行動訓練

① パソコン教室（応用編）

- ・7月14日 「iPhone利用の基本と便利なSiri機能の活用」
参加5人 広島市総合福祉センター
- ・7月28日 「NVDAを用いたSea Monkeyの活用」
参加5人 広島市総合福祉センター
- ・8月18日 「NVDAを用いたGoogle Chromeの基礎活用」
参加5人 心身障害者福祉センター

② 音声機器の操作指導

- ・年間 29回
- ・内容 視覚障害者用ポータブルレコーダー等の操作指導

③ ダンス教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催中止

- ・年間開催回数 12回→11回
- ・毎月第2日曜日 13:00～15:00
- ・開催場所 西区地域福祉センター

(5) 盲人野球振興

- ・年間12回開催
- ・開催場所 県立中央特別支援学校グラウンド

(6) 視覚障害スポーツ振興

- ・ボウリング 3回 広電ボウル
- ・ゴルフ 3回 高陽ゴルフセンター
- ・テニス 2回 心身障害者福祉センター

(7) 点字カラオケ機器貸出

- ・貸出回数—8回

(8) 平和大学

- ・1月26日 神園さやかコンサート開催 参加90人
広島ガーデンパレス（東区）

3 視覚障害者（児）ICT利活用支援ボランティア養成・派遣事業

視覚障害者のICT利活用を促進するため、視覚障害者が情報機器（音声パソコン、スマートフォン）を操作するための専門知識・技能を持つボランティアを養成し、障害者の自宅等に派遣し、操作方法の指導・助言を行った。

(1) ICT利活用支援の利用・活動状況

利用回数、利用時間数とも増加傾向にあったが、元年度は減少に転じた。こうした結果の要因を含め、利用実態を把握、整理し、ボランティア側からだけでなく、利用者・視覚障害者側からの支援のあり方を検討する。

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
利用者数	34.2人	39.0人	41.5人	42.3人	41.6人
年間延べ利用回数	1,003回	1,364回	1,342回	1,325回	1,244回
活動ボランティア数	30.8人	33.6人	30.8人	28.2人	29.7人
年間延べボランティア派遣数	1,645人	2,138人	2,171人	2,313人	2,139人
年間延べ活動時間数	3,261H	4,286H	4,390H	4,661H	4,294H

注：利用者数、活動ボランティア数は、各年度の各月利用者数、各月活動ボランティア数の平均。

(2) 支援ボランティアの養成

新規ボランティアの養成講座及び登録済みのボランティアの技能向上を目指すスキルアップ講座を以下のとおり開催した。

① ボランティア養成講座

区分		開催期間	回数	参加者数	ボランティア登録数
スマホ	1期	4/16～6/25	10	3	2
	2期	10/15～1/7	10	2	1
パソコン	1期	4/18～6/27	10	4	3
	2期	10/17～12/19	10	2	2

② スキルアップ講座

- ・パソコン基礎講座 7/2～9/17 10回 参加者3人
- ・iPhone講座 6/26～9/25 10回 参加者8人
- ・パソコン・スクリーンリーダー 7/4～9/19 10回 参加者3人
- ・PCTalker NetReader Chrome 1/6～2/10 5回 参加者4人
- ・iPhone基礎とiOS13最新アプリ 1/7～3/17 7回 参加者4人
- ・PCTalker NetReader Chrome 1/8～2/12 5回 参加者4人
- ・PCTalker NetReader Chrome 1/9～3/12 8回 参加者4人

4 広島市視覚障害者情報センター運営事業

視覚障害者向けの通信情報機器や日常生活用具を常設展示し、機器の体験のほか、情報提供、相談に応じた。また、利用者のニーズに応じた、企画展や体験会を開催した。

(1) センター来所者数

単位：人

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間来所者数	2,394	2,033	2,280
月平均来所者数	200	169	190

注：来所者数には、情報センター内で行ったイベントの来場者数は含むが、情報センターまつり等他会場で行ったイベントの来場者数は含んでいない。

(2) センター事業実施内容

① 主な展示物と展示数

展示品の一覧表を作成、配布するとともに、引き続き、来所者の選択肢の幅が広げられるよう、展示品の充実を図った。

区分	内容	展示数
補装具	白杖	25種
日常生活用具	拡大読書器、ポータブルレコーダー、時計、体温計、電磁調理器、点字ディスプレイ、歩行時間延長信号機用送信機、ICタグレコーダー、点字器など	33種
その他	時計、測定機器、健康機器、ルーペ、財布、防災グッズ、キッチングッズ、裁縫用具、ゲームなど	140種
計		198種

② 情報センターだよりの発行

視覚障害者向けの用具や関連イベント、制度・サービス等を情報提供するため、情報センターだよりを隔月に発行、配布した。配布を希望する個人のほか、各区保健福祉課、各区社協、包括支援センター、当事者グループ等に配布するとともに、音声版を広島市ホームページで公開した。

③ センター主催イベントの開催

ア 情報センターまつりの開催

視覚障害に関する総合的な情報提供、体験イベントとして開催

区分	29年度	30年度	元年度
開催日	H30.2.11	H31.1.14	R2.2.2
会場	市総合福祉センター	市総合福祉センター	市総合福祉センター
来場者数	500人	700人	980人
機器展示等ブース数	30ブース	32ブース	33ブース

イ その他のイベント開催

区分	29年度	30年度	元年度	元年度実績の内容
イベント数	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔支援カメラシステムリモートアシスト体験会 ・暗所視支援眼鏡を使って平和記念資料館を観覧しよう ・快速よむべえ体験会 ・音声クッキング機器体験会 ・PTR3体験会
来場者数(人)	69	154	132	

④ 外部イベントへの参加

区分	29年度	30年度	元年度	元年度実績の内容
イベント数	3	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・もみじサイト相談窓口実務者会議 ・障害者自立支援協議会中区地域部会機器展示及び説明 ・サイトワールド2019 ・中区社協ボランティアまつり機器提供 ・心障センター文化祭機器展示

⑤ 当事者相談（ピアカウンセリング）

年間 22回実施

5 用具取扱あっせん事業

広島市の補装具・日常生活用具の指定事業者の指定を受け、視覚障害者が補装具や日常生活用具を購入する際の機種選定の相談、製造元への取次、自宅等への配達、機器の設定・操作方法の説明を行った。

(1) 売上額等の推移

区分	26年度 決算	27年度 決算	28年度 決算	29年度 決算	30年度 決算	元年度 決算
売上額A	千円 10,230	千円 8,560	千円 8,313	千円 9,271	千円 11,273	千円 14,228
仕入額B	8,501	7,330	7,681	8,201	8,460	12,282
利益A-B	1,729	1,230	632	1,070	2,813	1,946
仕入比率B/A	83%	86%	92%	88%	75%	86%

(2) 取扱あっせんしている主な用具

区分	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	30年度 実績	元年度 実績
1位	拡大読書器 13件	パソコンソフト 17件	音声時計 16件	ポータブルレコーダー 13件	ポータブルレコーダー 26件	ポータブルレコーダー 34件
2位	パソコンソフト 9件	ポータブルレコーダー 14件	パソコンソフト 15件	パソコンソフト 13件	拡大読書器 22件	パソコンソフト 24件
3位	ポータブルレコーダー 8件	拡大読書器 10件	ポータブルレコーダー 13件 拡大読書器 13件 体温計 13件	拡大読書器 10件	パソコンソフト 11件	拡大読書器 15件

6 講師派遣・普及啓発事業

視覚障害者の理解や援助技術普及のため、行政や各種団体等へ講師を派遣した。「同行援護」従事者の養成研修を企画、開催した。

また、特別養護老人ホームで訪問マッサージの社会奉仕活動を行った。

(1) 講師派遣

- ① 広島市新規採用職員研修
- ② 介護労働安定センター同行援護養成講座
- ③ 女学院中学授業

(2) 視障協同行援護養成講座の開催

- ・一般・応用 各1回
- ・受講者数 10人

- (3) 治療奉仕
 - ・ 神田山長生園
 - ・ 治療参加者数 15 人

7 点字版・音声版製作事業

広島市の広報誌「ひろしま市民と市政」、「市議会だより」をはじめ、各種パンフレット、説明資料等の点字印刷及び録音物の製作、発送を行った。

(1) 元年度の事業内容

① 点字版製作

- ア 平和祈念資料館展示解説文
- イ 平和宣言
- ウ 広島ガス料金の手引き
- エ NTT西日本電話帳香川県版
- オ マーガレットコンサートパンフレット
- カ 点字入り名刺

② 音声版製作

- ア 市民と市政 1日号・15日号（年間24回）四季号（年間4回）
平均発行件数 CD 81件、テープ 61件 計142件
- イ 市議会だより 年間7回
平均発行件数 CD 73件、テープ 63件 計136件

(2) 収入額の推移

単位：千円

区分	28年度決算	29年度決算	30年度決算	元年度決算
録音製作収入	4,554	4,690	4,959	6,852
点字製作収入	737	1,921	200	931
計	5,291	6,611	5,159	7,783

8 調査・研究活動

視覚障害者の生活環境、移動等に関する調査を実施するほか、行政等が行う調査への協力を行う。元年度は広島駅周辺のまち点検を行った。

今後は、活動結果を成果物としてとりまとめ、理事会等で発表する。行政等への意見表明、要望につながるものとなるよう、調査・研究活動のテーマを視障協内で検討する。福祉環境部以外の部でも行う活動とする、などの取り組みが必要と考えられる。

9 陳情・要望活動

各種大会等に出席し、全国の動向の把握に努めるとともに、他都市の団体との意見交換、交流を深めた。こうした全国の状況を踏まえ、国、県、市及び関係機関に対し、本市の実態に即した視覚障害者の福祉の向上のための陳情、要望を行っている。

(1) 令和元年度に出席、参加した大会 662,860円

- ① あはき法 19条大阪地裁口頭弁論 大阪 1人 11,340円
- ② 全国視覚障害者福祉大会 札幌 5人 311,100円
- ③ 全国視覚障害女性研修大会 名古屋 3人 106,820円
- ④ 弱視問題対策部会委員総会 東京 1人 53,320円

- ⑤ 全国視覚障害青年研修大会 津 3人 118,780円
- ⑥ 中国ブロック三療研修会 米子 1人 9,500円
- ⑦ 中国ブロック代表者協議会 松江 8人 52,000円

Ⅲ 収益事業—不動産賃貸

視障協が東区光町に所有する土地（138㎡）を駐車場として運用した。

月10千円×4人×12月＝年間収入480千円

Ⅳ その他事業—相互扶助・他団体交流等事業

視障協会員を対象とした以下の助成、行事等を行うとともに、広島市や広島市身体障害者福祉団体連合会の事業に参画し、連携を図った。

1 相互扶助

- (1) 部会活動費助成 90,998円

視障協各部が行う活動に対し助成を行った。

- ① 女性部 12,224円
- ② 青年部 7,225円
- ③ 文化部 54,922円
- ④ 体育部 16,627円
- ⑤ 福祉環境部

元年度から、公益目的事業「調査・研究活動」に計上

- ⑥ あはき部

元年度から、「中国ブロック三療研修会」参加旅費を、公益目的事業「陳情・要望活動」に計上

- (2) 各種大会参加助成金 237,000円

会員の各種大会への参加に対し助成を行った。

- ① 全国視覚障害者福祉大会 9,000円
- ② 全国視覚障害女性研修大会 3,000円
- ③ 全国視覚障害青年研修大会 21,000円
- ④ 中国ブロック大会 63,000円
- ⑤ 中国ブロックグランドソフトボール大会 45,000円
- ⑥ 中四国身体障害者福祉大会 12,000円
- ⑦ グランドソフトボール大会 42,000円
- ⑧ マラソン大会 3,000円
- ⑨ ブラインドゴルフ大会 15,000円
- ⑩ ボウリング大会 24,000円

- (3) 視障協だよりの発行

- (4) 納涼交流会（ビアガーデン）の開催

2 他団体交流

- (1) 日視連加盟団体への平和宣言送付

- (2) 広島市関係

以下のような行事・イベントに参加し、交流を深めた。

- ① フラワーフェスティバルへの参加

- ・ふれあい委員会委員就任
- ・パレード・ステージ参加
- ② 心障センター文化祭への参加
- ③ マーガレットコンサートへの参加
 - ・マーガレットコンサート実行委員会委員就任
 - ・コンサート参加
- ④ 障害者スポーツ協会理事就任
- ⑤ 各種スポーツ大会への参加
 - ・陸上競技大会
 - ・ボウリング大会
 - ・フライングディスク大会
 - ・グラウンドゴルフ大会
 - ・卓球大会
 - ・水泳大会
 - ・全国身体障害者スポーツ大会

(3) 広島市身体障害者福祉団体連合会関係

市身連の運営に理事として関わるとともに、広島市身体障害者福祉大会等市身連が行う行事にも積極的に参加した。

- ① 広島市身体障害者福祉大会への参加
- ② 障害者社会参加推進協議会への出席
- ③ 理事会・総会への出席
- ④ 文化部会への出席
- ⑤ 政令市身体障害者福祉団体連絡協議会への参加
- ⑥ 施設見学会への参加
- ⑦ 中四国相談員研修会への参加
- ⑧ 文化研修会への参加
- ⑨ ふれあい交流会（ボーリング大会）への参加

3 物品あっせん

- ・市身連がとりまとめる物品のあっせんを行った。

V 法人会計

総会、理事会等視障協の運営に係る各種会議を開催するほか、予算、決算のとりまとめ、各事業の円滑な実施のための調整等を行った。

また、以下のとおり、「公益社団法人広島市視覚障害者福祉協会結成 70 周年記念大会」を開催した。

1. 日時 令和2年1月26日（日） 14：30～19：00
2. 会場 広島ガーデンパレス
広島市東区光町1丁目15-21 TEL 082-262-1122
3. 日程 （一部）
神園さやかコンサート 14：30～15：30
（二部）
記念式典 16：30～17：30

祝賀会 17:30～19:00

(記念式典に91人、祝賀会に89人の出席)

4. 「公益社団法人広島市視覚障害者福祉協会70年のあゆみ」をとりまとめ、配布した。

注：社会参加促進事業掲載分は除く

月	日(曜)	内 容
4	10(水)	あはき法 19 条大阪地裁第 13 回口頭弁論傍聴、決起集会(大阪)参加
	14(日)	女性部総会開催 青年部総会開催
	22(月)	市身連／文化部会 出席
5	3(祝)～ 5(祝)	フラワーフェスティバル「ふれあいの広場」・「パレード」参加
	19(日)	第 16 回広島市障害者陸上競技大会 参加 第 48 回中国ブロックグランドソフトボール大会(広島)参加
	26(日)	市身連／理事会・総会 出席
	26(日)～ 28(火)	第 72 回全国視覚障害者福祉大会(札幌)参加
6	2(日)	「第 1 回理事会」開催
	8(土)	第 20 回広島市障害者ボウリング大会 参加
	9(日)	福祉環境部まち点検 実施
	22(土)	心障セ／広島市障害者スポーツ協会理事会 出席
	23(日)	中国ブロックカラオケ予選会 開催 「定時総会」、「第 2 回理事会」開催
	30(日)	会員ふれあいブラインドテニス大会 開催
7	6(日)	日視連・弱視問題対策部会第 1 回委員総会(東京) 出席
	7(日)	中国ブロックオセロ大会予選会 開催
	14(日)	市身連／第 67 回広島市身体障害者福祉大会参加
	28(日)	納涼交流会(ピアガーデン) 開催
8	7(水)	市身連／広島市への要望の会 出席
	27(火)～ 29(木)	第 65 回全国視覚障害女性研修大会(名古屋)参加
	30(金)	市身連／障害者社会参加推進協議会 出席
9	7(土)～ 8(日)	第 60 回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会(札幌)出席 第 68 回中国ブロック盲人福祉大会(松江)参加
	11(水)	あはき部治療奉仕(神田山長生園)実施
	22(日)～ 23(祝)	第 65 回全国視覚障害青年研修大会(津)参加
	30(月)	市身連／施設見学会(尾道・今治)参加
10	3(木)	市身連／中・四国身体障害者相談員研修大会(岡山)参加
	20(日)	「第 3 回理事会」開催

月	日(曜)	内 容
10	23(水)	RCCラジオ／チャリティ・ミュージックソン広島県警への贈呈式・基金管理運営委員会及び渡り初め式 出席
	27(日)	第20回広島市障害者フライングディスク大会 参加
11	3(祝)	市身連／理事会 出席
	9(土)	第14回広島市身体障害者グラウンドゴルフ大会 参加
	17(日)	会員ふれあいグランドソフトボール大会 開催
	23(祝)	市身連／文化研修会 参加 中国ブロック三療研修会(米子) 出席
12	8(日)	心身障害者福祉センター／文化祭 参加
	20(金)	文化部会員の広場「希望」発行
1	26(日)	視障協結成70周年記念大会 開催
2	2(日)	視覚障害者情報センターまつり 開催
		中国ブロック会代表者会議(松江) 出席
		第23回広島市障害者卓球大会 参加
	16(日)	広島市障害者ふれあい交流会 参加
	23(祝)	広島市マーガレットコンサート 参加
3	22(日)	「第4回理事会」開催

注1 10月12日～14日、茨城県で開催予定であった「第19回全国障害者スポーツ大会」は台風のため中止。

注2 3月に実施予定であった以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止した。

- 8日 第23回広島市障害者水泳大会
- 15日 文化部文化交流会
- 18日 市身連・障害者社会参加推進協議会
- 19日 日視連評議員会・指導者研修会
- 29日 会員ふれあいボウリング大会
- 未定 広島市障害者スポーツ協会理事会

II 令和元年度（2019年度）決算について

I 収入総額・支出総額と差引収支差

収入総額	49,111,049円
支出総額	48,784,807円
差引	326,242円

II 前年度（平成30年度）決算との比較

前年度（平成30年度）▲2,082,154円の赤字から、
2,408,396円収支が改善し、元年度は326,242円の黒字となった。

（収入）

収入は、3,903,466円増加。そのうち、福祉用具売上の増が2,954,637円で、これを除くと948,829円の増加。

区分	元年度決算①	30年度決算②	差引①—②
市委託料収入	24,579,557	25,271,201	▲691,644
点字・録音製作収入	7,782,517	5,158,635	2,623,882
その他収入	2,521,120	3,504,529	▲983,409
計	34,883,194	33,934,365	948,829
福祉用具売上	14,227,855	11,273,218	2,954,637
合計	49,111,049	45,207,583	3,903,466

（支出）

支出は、1,495,070円増加しているが、仕入高の増を除くと、
逆に▲2,358,694円の減少。

区分	元年度決算①	30年度決算②	差引①—②
給料手当	15,931,343	17,243,807	▲1,312,464
消耗品費	369,818	756,606	▲386,788
その他支出	20,129,541	20,788,983	▲659,442
計	36,430,702	38,789,396	▲2,358,694
仕入高	12,354,105	8,500,341	3,853,764
合計	48,784,807	47,289,737	1,495,070

（収支状況）

福祉用具売上（収入）の大幅な増には、仕入高（支出）の大幅な増を伴っていることから、これらを除いた収支状況をみると、収入が点字・録音製作収入等の増加により948,829円増加し、一方、支出は、給与手当等の減少により▲2,358,694円減少しており、これらが相まって、大幅な収支改善が図られた。

Ⅲ 事業別決算の状況

事業名	収入	支出	差引
①視覚障害者歩行訓練事業	5,116,000	5,211,808	▲95,808
②社会参加促進事業	5,362,697	5,362,697	0
③ICT 利活用支援ボランティア養成・派遣事業	10,183,860	10,183,860	0
④視覚障害者情報センター運営事業	3,917,000	3,917,000	0
⑤用具取扱あっせん事業	14,227,904	14,227,904	0
⑥講師派遣・普及啓発	429,640	429,640	0
⑦点字版・音訳版製作	7,807,521	6,800,652	1,006,869
⑧調査・研究活動	0	7,174	▲7,174
⑨陳情・要望活動	0	918,497	▲918,497
公益目的事業	47,044,622	47,059,232	▲14,610
収益事業			
⑩不動産賃貸	480,002	430,059	49,943
その他事業			
⑪相互扶助・他団体交流等	1,381,420	1,042,223	339,197
⑫法人会計	205,005	253,293	▲48,288
合計	49,111,049	48,784,807	326,242

注：支出には、経常外支出を含んでいる。